

院内感染対策ニュース

第57号 平成30年5月17日
院内感染対策委員会

先月29年度の針刺し事故の結果をご報告しました。今年度の目標値も16件以内としています。これから新人看護師や研修医の先生方は採血や点滴を実施する機会が増えると思います。針刺し事故のないよう4月から来られた研修医3名と採血や血管確保（静脈留置針挿入）の練習をしました。研修医の先生方には新人看護師より一足先に採血などの練習を行い、針刺し事故防止のため正しい器具の使用方法をレクチャーしています。今回はその様子をレポートします。



まずは採血針やホルダーの持ち方、安全機能の作動方法をレクチャー。3人とも真剣です。採血練習用器材はICNお手製。実際の針を使用し穿刺。練習用器材ではうまくできました。意外と難しかったのが駆血帯。今年の先生たちは駆血帯を縛るのが上手でした。ICNが練習用器材に穿刺をレクチャー。それから実際の針を使用して穿刺練習をしました。



ICNも練習台

いよいよ自分たちの腕を使って採血実施。うまく血管に入ったり、入らなかったり…

今度は血管確保。まずは練習器材で針の持ち方、安全機能を学習。ICNが実際に穿刺の場面を見せてから自分たちの腕を使って練習です。



今年は針刺し事故16件まで。皆さんご協力よろしくお願ひします。

2時間以上練習しました。針穴だらけになりながら頑張ったので、採血や血管確保の場面がありましたらぜひ研修医の先生に実施させてあげてください。

よろしくお願ひします